

# 第 233 回競技委員会議事録

1. 日 時：2015 年 3 月 4 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 11（内委任状 2）で成立。

寺本直志委員長、中谷忠義競技会事業担当業務執行理事

斉藤千鶴乃、山後秀幸、西田博、古田一雄、吉田正、正村祐一、仲村篤志

委任状：佐々部君敏、林伸之

欠 席：西田奈津子

オブザーバー：鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 コンベンションに関するワーキンググループからの報告

(1) JCBL HANDBOOK 2015 の修正点を、事務局資料を基に議論しまとめた。

第 2 号議案 朝日新聞社杯フライト E の対戦の間違ひについて

(1) 2015 年度 朝日新聞社杯 フライト E（渋谷会場）にて、再戦に対する調整を最終ラウンドのみのところ、最終 2 ラウンドで行ってしまったことが下記の通り報告された。

- ・担当は山後秀幸ナショナルディレクター。
- ・再戦による対戦のズレは、優勝争いの対戦に影響があった。
- ・最終 2 ラウンド対戦調整を行うことは初日よりアナウンスしていた。試合要項は会場に掲示していた。
- ・結果は変更しないこととし同フライトの全チームに謝罪状を郵送した。
- ・必要事項を密に JCBL 事務局と確認を取るよう指示し厳重注意処分とした。

第 3 号議案 スイス戦における最終戦において、1 ラウンドの上限以上の得点差を持った 1 位の取り扱いについて

(1) 最終ラウンドを待たずして 1 位が確定したチームのとり扱いについて、WBF の競技会で 1 位のチームが Bye なる例をあげ桜井雅子氏より検討依頼があった。

- ・WBF のスイスの規定は上記のとおりだがあくまで予選順位を決めるものである。
- ・国外のスイスで行われる競技会でも Bye になるかどうかはそれぞれだ。
- ・順位の確定した 1 位のでき次第で下位の順位に影響があるのが好ましくない。
- ・あくまで考え方の問題でどちらが公正公平であるというものではない。
- ・過去に同状況では 1 位と最下位が対戦していたことがあった。最下位からの評判は悪く現在の方法に落ち着いている。もし採用するにしても Bye として扱い最下位との対戦はしない方がよい。
- ・Bye にする場合は偶数のときにトライアングルが発生する。
- ・Bye にする場合は 1 位に試合続行か否かの選択権はなく自動的であるべきだ。選択権があると最終ラウンドの対戦を決めるまでに時間がかかり運営上好ましくない。
- ・Bye にする規定を作成した場合でも、最終ラウンドの方式については主催者の選択制にすべきだ。
- ・Bye にする場合で奇数テーブルのときはトライアングルを 2 ラウンドで行うべきでない。

(2) 上記などの意見を交換したうえで最終的に現状通り 1 位に対する特別な扱いは規定しないこととした。

第 4 号議案 クラブディレクターの承認について事務局から報告があった。

松本 三知男 206873 C-01058 福岡県

西川 奈央 207340 C-01059 東京都

第5号議案 その他議案

- (1) スイスの最終ラウンドのみ再戦ありで行っているのに、直前の結果を使わず2ラウンド前結果で対戦を決めている例が鈴木オブザーバーより報告された。規定にて禁止するより規定の趣旨を JCBL 事務局より説明することで啓蒙していくことで対応することとした。
- (2) ビディングボックスのつまみ間違いに関して大船 BC に問い合わせたところ、特に BC としての取り決めはなく従って文書もない旨返答があったことが仲村委員より報告された。
- (3) 第1回ディレクターワーキンググループについて寺本委員長より報告があり意見交換を行った。

次回競技委員会は2015年5月13日(水)18時00分からの開催を予定する。

以 上